

職員による自己評価

A業務改善

・年度初めに課全体で目標を確認し、事業所として必要な業務の確認と分担等を行った。スキルアップにつながる研修を設定し学ぶ機会を増やした。

B適切な支援の提供

・保護者学習会に新たな内容を導入した。支援方法について柔軟に対応できるように常に検討会を開催している。保護者からの評価表をまとめ、それを元に改善すべき点やできることを会議で検討している。

C関係機関との連携

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から例年行っている移行支援はソーシャルワーカーと調整し可能な限り実施した。

D保護者への説明責任等

・ご家族からの希望は面談を通し聞き取りを行っているが子ども本人のリアルニーズを把握することができているか検討する必要がある。

E非常時等の対応

・保護者に、緊急時の避難経路を伝えている。また、新型コロナウイルスの情報を含め教室内の壁面に情報を貼り出している。しかしながら保護者への周知は不確実な点もある。

保護者による評価

A適切な支援の提供

・支援に不満という回答が7.7%あった。意見としては、ニーズに合った支援を受け、良い発達につながったというもののほか、多人数で個々にあった内容ではないと感じた、というようなものをいただいた。

・活動プログラムでは高評価をいただき様々なアプローチがあったとの意見をいただいた。

B保護者への説明等

・おやこ分離中の様子の報告を取り入れたことで、その後の様子を含めてきちんと伝えてもらっている（ので良かった）という意見をいただいた。一方、個別の話がもう少し頻度が高いとよかった・質問すれば助言してくれるが、積極的にフォローやサポートはしてもらえなかった、という意見もいただいた。

C非常時等の対応

・避難訓練は、避難ルートの確認や通年クラスでの避難訓練を実施しているが防犯マニュアルがわかりにくい、という意見をいただいた。

D満足度

・満足79.5%、どちらとも言えないもしくは不満足12.9%となった。たくさんの高評価の意見をいただいたが、クラスの回数が少ない・保護者会での懇談会の実施、について要望があった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ニーズに合った支援がなされており、結果として良い発達につながっている。
- ・多様なプログラムや遊びが準備されていて様々な面からアプローチしている。
- ・保護者への説明機会を増やし充実させている。
- ・保護者プログラムでおやこ分離した時、その後どうだったか子どもの様子をきちんと伝えられている。
- ・保護者プログラムは保護者同士の意見を聞ける場でもあり勉強になっている。

【相違点】

- ・個人に合ったプログラムにしてほしいとの意見がある。
- ・職員と個別に話はできるがもう少し頻度が高いとよい。時間がとれないように感じている。
- ・相談すれば助言してもらえらるが積極的にフォローやサポートはしてもらえていないと感じている。
- ・保護者懇談会や茶話会等があればよい。保護者同士の連携につながっていない。
- ・週1回、2週に1回では子どもがなじめない。3か月間では実施回数が短いとの指摘がある。
- ・福祉サービス等は早めに教えてほしいとの意見がある。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・保護者学習会
年齢に合わせてシリーズ化した早期療育、初期療育の場面で、保護者学習会を実施している。
- ・低年齢から実施する早期療育
家庭生活において適応力向上につながる療育を展開できる。
- ・たくさんのお子さんに対応
クール制のため期間が短くなるが、たくさんのお子さんが利用できる。
- ・職員集団が小規模なため少しの時間を利用してミーティングができる。

事業所の改善点

- ・個別支援計画の見直し
本人や家族の希望をさらに聞き取り、より個別化された個別支援計画にする。
- ・職員とのコミュニケーションについて
保護者と職員間で話ができる時間の拡充を検討する。
- ・保護者同士の懇談について
保護者学習会内で懇談できる時間を確保するようにプログラムを検討する。
また、新たに懇談会の設定を検討する。
- ・在籍園との連携について
在籍園との連携を強化する。
- ・対応時間の検討
川崎市とともに申込増加に対して対応策を検討する。

事業所の改善への取り組み

- ・「保護者懇談会のあり方」
保護者同士の子育ての悩みや意見の交換、子育ての工夫やアイデアなど保護者ならではの貴重な意見が話し合われる懇談会は重要である。要望が多いことから、新たに開催日程を設定することで保護者間の交流を図る機会を検討する。また、保護者学習会の中で保護者同士のコミュニケーションが取れるように時間配分を検討する。
- ・「より個別化された支援計画」
細かく個人に寄り添った個別支援計画を作成するため、担当ソーシャルワーカーからの申し送り等を充実させ、より個人個人のニーズに合わせた個別支援計画を提案できるようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

高い評価と貴重なご意見をたくさんいただき光栄に思います。少しでもその期待に添えるよう常に向上心を持って進んでまいります。回数の少なさ、期間の短さ、保護者同士の懇談会の開催について要望が多く寄せられています。当事業所を含むセンター全体で検討会を行っております。また、これらの要望は他のセンターでも共通であり、川崎市と市内全地域療育センター合同で新たな取り組みに向けて検討会が開始されています。

「保護者懇談会のあり方」「より個別化された支援計画」をキーワードとして、当事業所の利用者と地域のための優しさあふれる療育の向上に努めてまいります。ありがとうございました。

保護者アンケート集計結果

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答
支援の適切な提供	① 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	76.3%	10.5%	7.9%	5.3%	0.0%
	② 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	73.7%	15.8%	0.0%	7.9%	2.6%
保護者への説明等	③ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	④ 事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	89.5%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%
	⑤ 日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	81.6%	13.2%	2.6%	2.6%	0.0%
	⑥ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の家族支援が行われているか	84.2%	13.2%	0.0%	2.6%	0.0%
	⑦ 保護者会（懇談会等）の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	44.7%	21.1%	15.8%	18.4%	0.0%
	⑧ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	78.9%	15.8%	2.6%	2.6%	0.0%
	⑨ 定期的にクラスだより等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を保護者に対して発信されているか	55.3%	10.5%	5.3%	28.9%	0.0%
	⑩ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	78.9%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%
非常時の対応	⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、保護者に周知・説明されているか	81.6%	15.8%	0.0%	2.6%	0.0%
	⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52.6%	13.2%	5.3%	26.3%	2.6%
満足度	⑬ 子どもは通所を楽しみにしているか	78.9%	2.6%	10.5%	7.9%	0.0%
	⑭ センターの支援に満足しているか	76.3%	15.8%	7.9%	0.0%	0.0%

職員評価の集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	無回答・他
業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	66.7%	16.7%	16.7%
	②	保護者等向け評価表により把握した保護者等の意向等を、業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%
	③	職員の資質の向上を行うための、研修の機会は十分か	66.7%	33.3%	0.0%
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	83.3%	16.7%	0.0%
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑦	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑧	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%
関係機関との連携	⑨	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑩	保健センターや保育所・幼稚園等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%
	⑪	(医療的ケア児や重症心身障害児について) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50.0%	16.7%	33.3%
	⑫	(医療的ケア児や重症心身障害児について) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50.0%	16.7%	33.3%
保護者への説明責任等	⑬	移行支援として、保育所や、幼稚園、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	83.3%	16.7%	0.0%
	⑭	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑮	事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑯	日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑰	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と家族支援を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑱	親の会の活動の支援や、保護者会（懇談会等）の開催等により保護者同士の連携を支援しているか	83.3%	0.0%	16.7%
	⑲	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%
非常時等の対応	⑲	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	50.0%	50.0%	0.0%
	⑳	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100.0%	0.0%	0.0%
	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知されているか	100.0%	0.0%	0.0%
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%
	㉓	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50.0%	16.7%	33.3%
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	66.7%	16.7%	16.7%
非常時等の対応	㉖	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応がなされているか	83.3%	16.7%	0.0%
	㉗	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	50.0%	50.0%	0.0%